

平成29年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善委員会

# 報 告 書

平成29年 12月

## I 報告書の作成にあたって

本報告書は、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成した。報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

### （結果の公表）

#### 第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

### （改善策の立案）

#### 第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

## II 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

### 2 実施主体 文部科学省

### 3 参加主体 市町村教育委員会

### 4 調査の対象

#### 【小学校調査】

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

#### 【中学校調査】

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

### 5 調査事項及び手法

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

それぞれ「主として『知識』に関する問題」(A)と「主として『活用』に関する問題」(B)を出題。

##### i) 主として知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

##### ii) 主として活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

##### ② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

#### (2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

### 6 調査の方式 悉皆調査

7 調査期日 平成29年4月18日(火)

8 4月18日に調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児童数(人)				
	国語A	国語B	算数A	算数B	質問紙
全国(公立)	999,683	999,498	999,723	999,451	
秋田県(公立)	7,183	7,182	7,183	7,180	
仙北市教育委員会	183	183	183	183	183

中学校生徒数	生徒数(人)				
	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙
全国(公立)	982,511	982,619	982,811	982,788	
秋田県(公立)	7,656	7,656	7,654	7,651	
仙北市教育委員会	181	181	181	181	181

調査実施校数	4月18日に調査を実施した小学校、 特別支援学校小学部	4月18日に調査を実施した中学校、 中等教育学校 特別支援学校中学部
全国(公立)	19,456校	9,539校
全国(国立)	75校	77校
全国(私立)	114校	366校
合計	19,645校	9,982校
仙北市教育委員会	7校	5校

### Ⅲ 結果

- ※ 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学の2教科であり、また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。従って、本調査の結果については児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校等における教育活動の一側面にすぎないことに留意する必要がある。
- ※ 「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第2条に基づき、教科に関する調査結果の数値による公表は行わない。〈表2〉の階層区分と表現による公表としている。

## 1 教科に関する調査の結果

### (1) 概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれ「A：主として知識」及び「B：主として活用」の区分で比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分の視点から比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

#### 【成果】

- ① 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生の国語A・B、算数A・B、中学校3年生の国語A・B、数学A・Bの学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ② 国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生、中学校3年生ともに全ての項目において仙北市が上回っている。
- ③ 仙北市の平均正答率をみると、特に小学校6年生国語「B：主として活用」において良好な状況である。
- ④ 中学校3年生が小学校6年生時の正答率と比較した場合、ほとんどの項目において秋田県との差が縮まっている。

#### 【課題】

- ① 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、仙北市が全ての項目において若干下回っている。
- ② 中学校3年国語「B：主として活用」において、仙北市の平均正答率と秋田県の平均正答率との差が他の教科に比べて大きい傾向にある。
- ③ 小学校6年生での算数「A：主として知識」「B：主として活用」で、経年変化を見るときに、秋田県の平均正答率との差が埋まらないまま続いている傾向にある。

〈表1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科・問題別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年生	国語A:主として知識	全国(公立)	74.8%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	80.0%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	57.5%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	64.4%	概ね満足できる状況
	算数A:主として知識	全国(公立)	78.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	84.0%	概ね満足できる状況
算数B:主として活用	全国(公立)	45.9%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	50.0%	概ね満足できる状況	
中学校 3年生	国語A:主として知識	全国(公立)	77.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	82.2%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	72.2%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	77.8%	概ね満足できる状況
	数学A:主として知識	全国(公立)	64.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	68.6%	概ね満足できる状況
数学B:主として活用	全国(公立)	48.1%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	52.0%	概ね満足できる状況	

※〈表1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表2〉の表現にしたがって示した。

〈表2〉：〈表1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	概ね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第3条（別表2）による。

## (2) 設問分類・区分別集計結果から

本調査における全国及び秋田県の「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」別の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

### 【成果】

① 〈表3-(1)〉～〈表3-(8)〉にあるように、「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較してみると、小学校6年、中学校3年ともに国語、算数・数学の全ての項目において、「概ね満足できる状況」あるいは「十分満足できる状況」である。

②同様に全国の平均正答率と仙北市の比較からは以下のことが言える。

- ア) 「小学校6年国語A」では、「指導要領の領域」の4区分、「評価の観点」の4区分、「問題形式」の2区分の計10区分のうち、4区分が「十分満足できる状況」である。
- イ) 「小学校6年国語B」では、10区分のうち、9区分が「十分満足できる状況」である。
- ウ) 「中学校3年数学B」では、9区分のうち、1区分が「十分満足できる状況」である。

③仙北市の状況の中で小学校6年については以下のことが言える。

- ア) 「国語」については、「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」「評価の観点」、「問題形式」の「短答式」「記述式」が良好な状況である。

④仙北市の状況の中で中学校3年については以下のことが言える。

- ア) 「数学」については、「B：主として活用」では、「評価の観点」の「数量・図形などについての知識・理解」が良好な状況である。

### 【課題】

①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から比較した場合、次のような課題がある。

- ア) 小学校6年「算数」「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」の「図形」、「問題形式」の「記述式」が「改善が必要な状況」であり課題がある。
- イ) 中学校3年「国語」「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」の「国語への意欲・関心・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」が、「問題形式」の「記述式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

〈表 3 - (1)〉 : 「小学校 6 年国語 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域 領域	話すこと・聞くこと	1	76.5	69.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書くこと	2	66.9	60.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	3	74.3	70.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 1	82.5	78.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	/	/	/	/
	話す・聞く能力	1	76.5	69.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書く能力	2	66.9	60.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	3	74.3	70.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1 1	82.5	78.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	9	76.7	71.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	84.4	79.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0	/	/	/	/

〈表 3 - (2)〉 : 「小学校 6 年国語 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域 領域	話すこと・聞くこと	3	72.8	64.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書くこと	5	61.4	53.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	3	56.5	49.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	/	/	/	/
評価 の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	52.8	41.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	3	72.8	64.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書く能力	5	61.4	53.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	3	56.5	49.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0	/	/	/	/
問題 形式	選択式	5	68.7	64.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1	76.0	69.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	3	52.8	41.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (3)〉 : 「小学校 6 算数 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域 領域	数と計算	8	86.0	80.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	2	73.1	68.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	2	84.9	81.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	5	86.6	79.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観 点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	0				
	数量や図形についての技能	8	84.5	77.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	7	83.8	79.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	7	83.9	79.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	8	84.4	77.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (4)〉 : 「小学校 6 算数 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域 領域	数と計算	5	58.5	52.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	2	47.0	47.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	1	16.4	13.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量関係	8	44.6	40.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観 点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	9	50.0	45.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての技能	0				
	数量や図形についての知識・理解	2	52.4	48.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	3	57.7	54.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	3	66.0	61.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	36.7	31.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表3-(5)〉：「中学校3国語A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	4	80.4	75.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	4	90.2	85.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	6	78.7	73.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	81.9	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	4	80.4	75.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	4	90.2	85.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	6	78.7	73.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	18	81.9	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	22	82.2	78.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	10	81.9	75.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表3-(6)〉：「中学校3年国語B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	3	78.0	72.4	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書くこと	4	67.4	60.8	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読むこと	4	78.2	72.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	49.6	41.4	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
観点	国語への関心・意欲・態度	3	63.0	55.9	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	話す・聞く能力	3	78.0	72.4	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書く能力	4	67.4	60.8	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読む能力	4	78.2	72.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1	49.6	41.4	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	5	84.9	79.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1	89.1	84.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	63.0	55.9	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (7)〉 : 「中学校 3 年数学 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	数と式	12	73.9	70.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	12	68.7	66.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	8	62.4	57.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	4	63.6	57.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	0				
	数学的な技能	20	72.3	68.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	16	63.7	60.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	13	69.9	66.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	23	67.7	63.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (8)〉 : 「中学校 3 年数学 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	数と式	3	49.8	46.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	6	50.8	47.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	3	55.3	50.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	3	51.9	49.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	10	40.0	36.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数学的な技能	3	64.8	61.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	2	90.8	85.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
問題 形式	選択式	4	57.5	53.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	70.9	66.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	24.2	21.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

### (3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものについて示す。

#### ①小学校6年「国語」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号 2 一」 「お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する」では、「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 内容の中心を明確にして書くために、段落相互の関係に注意するなど、文章全体の構成について考えることが改善すべき課題となる。

#### ②小学校6年「国語」**「B:主として活用」**について

ア) 「設問番号 2 一」 「【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する」では、「目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 目的や展開に応じ、文章の構成を工夫して文章を書くために、書く事柄の収集や整理することが改善すべき課題がある。

#### ③小学校6年「算数」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号 2 (4)」 「 $5 \div 9$ の商を分数で表す」では、「商を分数で表すことができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 3」 「8と12の最小公倍数を求める」では、「二つの数の最小公倍数を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数を表すことができることへの理解に改善すべき課題がある。
- ◆ 最小公倍数等の算数で用いられる用語が何を意味するかへの理解に改善すべき課題がある。

#### ④小学校6年「算数」**「B:主として活用」**について

ア) 「設問番号1(3)」 「2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く」では、「問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2(1)」 「小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く」では、「料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号4(1)」 「示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ」では、「示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号5(2)」 「与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、『最大の満月の直径』に近い硬貨を選び、選んだわけを書く」では、「身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

◆ 根拠を明らかにして、筋道を立てて自分が考えたことを表現することに改善すべき課題がある。

#### ⑤中学校3年「国語」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号8二」 「二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する」では、「文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号9-2、9三イ、9五」 「漢字『延期』を書く、『急がば回れ』を答える、話合いの記録として適切な言葉を考える」では、「文脈に即して漢字を正しく書く、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う、事象や行為などを表す多様な語句について理解する」に課題がある。

これらの設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」及び「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 話したことや書いてあるものから情報を得て、それを踏まえて（関連付けて）考えを広げたり表現したりすることに改善すべき課題がある。
- ◆ 文脈に沿って漢字を書いたり、ことわざを使ったり、用語に対して正しく理解し活用することに改善すべき課題がある。

## ⑥中学校3年「国語」**「B:主として活用」**について

ア) 「設問番号 1 三」 「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」では、「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「国語への意欲・関心・態度」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 2 一」 「スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する」では、「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」、「評価の観点」では「話す・聞く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号 2 三」 「スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す」では、「相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「評価の観点」では「国語への意欲・関心・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号 3 三」 「アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえたと考えた理由を書く」では、「必要な情報を集めるための見通しをもつ」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「国語への意欲・関心・態度」「書く能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 目的と資料から得た情報とを関連付けて考えた上で、情報を取捨選択し、適切に処理すること、それを基に自分の考えをもつことに課題がある。

## ⑦中学校3年「数学」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号 1 (2)」 「 $a$  と  $b$  が負の数 のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ」では「2つの負の数の和は負の数になることを理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数量や

図形などについての「知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 3 (3)」 「 $2x + y = 2$  の解の意味について選ぶ」では「二元一次方程式の解の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号 10 (2)」 「比例のグラフから式を求める」では、「与えられた比例のグラフから、 $x$  と  $y$  の関係を  $y = ax$  の式で表すことができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号 13」 「二元一次方程式が表すグラフを選ぶ」では、「二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

◆ 「数量や図形などの知識・理解」に関わり、数学的な表現や処理の仕方の習得に改善すべき課題がある。

### ⑧中学校3年「数学」 「B:主として活用」について

ア) 「設問番号 3 (3)」 「与えられた式から、 $a$  の変域に対応する  $b$  の変域を求める」では、「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 4 (1)」 「2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する」では、「筋道を立てて考え、証明することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

◆ 具体的な事象から関数関係を見だし、表現することに課題がある。

◆ 平面図形の性質を理解し、論理的に考察し、表現することに課題がある。

## 2 児童生徒質問紙調査の結果

### (1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。  
 全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向にあると言える。

特に「学習に対する意欲・学習の有用感」「規範意識・礼儀・思いやり・他者意識」「基本的生活習慣・基本的学習習慣」に望ましい傾向があると言える。

### (2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

小学校6年生の質問事項92項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率
1	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	98.4
2	(30)	家で、学校の宿題をしていますか	98.4
3	(52)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.4
4	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	98.3
5	(70)	国語の勉強は大切だと思いますか	97.9
6	(39)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	97.8
7	(50)	友達との約束を守っていますか	97.8
8	(53)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.8
9	(34)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	97.3
10	(28)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	97.2
11	(49)	学校のきまりを守っていますか	97.2

12	(84)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96.8
13	(61)	5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	96.7
14	(79)	算数の勉強は大切だと思いますか	96.7
15	(63)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	96.2
16	(73)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96.2
17	(1)	朝食を毎日食べていますか	96.2
18	(10)	将来の夢や目標を持っていますか	95.1
19	(35)	学校で、好きな授業がありますか	95.1
20	(38)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	95.1
21	(56)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	94.6
22	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.0
23	(17)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	93.9
24	(62)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	93.4
25	(91)	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）	93.4
26	(37)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	92.9
27	(57)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	92.9
28	(85)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	92.9
29	(89)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	92.9
30	(87)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	92.9
31	(51)	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.4
32	(11)	授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	92.3

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国比較	県比較
1	(32)	家で、学校の授業の復習をしていますか	30.4	-6.9
2	(40)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	20.4	3.1
3	(36)	学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	19.7	1.2
4	(29)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	19.1	1.0
5	(62)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	17.2	3.0
6	(54)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	17.0	0.3
7	(17)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	16.7	6.6
8	(74)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	16.2	-0.1
9	(42)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	15.1	-2.7
10	(43)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	13.9	0.1
11	(68)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	13.2	-0.3
12	(44)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	13.0	6.0
13	(39)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	12.7	3.2
14	(31)	家で、学校の授業の予習をしていますか	12.6	-3.9
15	(76)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	12.6	0.8
16	(65)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	12.3	-2.3

17	(85)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	11.5	3.6
18	(58)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	11.2	-2.6
19	(55)	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	11.2	-0.2
20	(78)	算数の勉強は好きですか	11.2	2.9
21	(75)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	10.9	-3.6
22	(83)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	10.7	-4.1
23	(64)	5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	10.5	-1.0

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	県比較
1	(17)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	6.6
2	(44)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	6.0
3	(25)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	5.8
4	(85)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	3.6
5	(27)	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	3.6
6	(21)	放課後に何をして過ごすことが多いですか	3.4
7	(39)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	3.2
8	(10)	将来の夢や目標を持っていますか	3.1
9	(40)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	3.1
10	(62)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	3.0

(3) 小学校6年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

小学校6年生の質問事項92項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率
1	(45)	新聞を読んでいますか	22.4
2	(48)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか	31.1
3	(25)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	47.0
4	(92)	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）	50.2
5	(31)	家で、学校の授業の予習をしていますか	53.6
6	(44)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	54.1
7	(27)	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	55.7
8	(67)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	56.3
9	(42)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	57.4
10	(23)	土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか	57.9
11	(26)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	59.0
12	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	59.5
13	(66)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	66.7
14	(69)	国語の勉強は好きですか	68.3
15	(41)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	68.9

16	(36)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	70.0
17	(60)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	70.5
18	(43)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	73.2
19	(90)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	73.2
20	(75)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	74.3

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	全国比較
1	(15)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※2時間以上	-18.9
2	(16)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※3時間以上	-5.6
3	(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） ※1時間以上	-3.1

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	県比較
1	(15)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※2時間以上	-8.0
2	(41)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	-7.0

3	(32)	家で、学校の授業の復習をしていますか	-6.9
4	(60)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	-6.3
5	(69)	国語の勉強は好きですか	-5.6
6	(48)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか	-4.7
7	(83)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	-4.1
8	(26)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	-4.0
9	(31)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-3.9
10	(75)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	-3.6
11	(45)	新聞を読んでいますか	-3.6
12	(86)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	-3.5
13	(16)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※3時間以上	-3.4

- ◆ 地域の行事への参加、地域の人との関わりの割合は高いものの、それが地域や社会への関心に結びついていないように見受けられる。また、国際的な関わりへの関心の低さも課題として挙げられる。
- ◆ テレビやゲームなどのメディアに接する機会が多いものの、家族との約束事があまりないところに問題点を感じられる。
- ◆ 新聞を読んでいる割合は、前年度よりも9.3%減少と、さらに急激に減っており、今後ますますその傾向は顕著になるものと推察される。学校等で活用しないかぎり目に触れる機会がないように感じられる。
- ◆ 平日ならびに学校が休みの日ともに、学校以外での学習時間の短さが課題となる。

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

中学校3年生の質問事項94項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率
1	(51)	学校の規則を守っていますか	98.9
2	(52)	友達との約束を守っていますか	98.9
3	(55)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.9
4	(63)	1, 2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	98.9
5	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	98.8
6	(65)	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	98.4
7	(54)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.4
8	(90)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.3
9	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	97.8
10	(36)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	97.8
11	(32)	家で、学校の宿題をしていますか	97.2
12	(39)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	96.7
13	(59)	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	96.7
14	(1)	朝食を毎日食べていますか	96.2
15	(40)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	96.1
16	(58)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	95.6

17	(91)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	95.6
18	(9)	友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか	95.0
19	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.9
20	(20)	学校の部活動に参加していますか	93.9
21	(72)	国語の勉強は大切だと思いますか	93.9
22	(66)	1，2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	92.8
23	(83)	数学ができるようになりたいと思いますか	92.8
24	(48)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	92.3
25	(75)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.3
26	(93)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学A）	91.7
27	(41)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	91.7
28	(89)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	91.7
29	(53)	人が困っているときは、進んで助けていますか	90.6

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。（県との割合との差は参考のために示した。）

NO	質問番号	質問事項	全国比較	県比較
1	(67)	1，2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	34.2	11.4
2	(34)	家で、学校の授業の復習をしていますか	33.5	-3.3
3	(42)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	32.0	21.7

4	(38)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	27.5	4.7
5	(17)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	26.3	8.5
6	(76)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	24.1	4.5
7	(56)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	19.1	-5.2
8	(11)	授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	18.6	3.5
9	(65)	1，2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	18.1	2.8
10	(64)	1，2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	17.9	-4.0
11	(77)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	17.3	-0.3
12	(66)	1，2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	16.8	2.0
13	(60)	1，2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	16.6	0.7
14	(41)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	16.2	4.0
15	(40)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	15.7	6.5
16	(43)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	15.4	2.5
17	(61)	1，2年生のときに受けた授業で、生徒の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	14.9	1.7
18	(59)	1，2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか	14.9	2.4
19	(70)	生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	14.7	1.7

20	(85)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	14.3	0.0
21	(44)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	13.5	-3.2
22	(31)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	13.2	-5.1
23	(62)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	12.8	-2.5
24	(46)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	12.4	11.3
25	(71)	国語の勉強は好きですか	11.4	-1.8
26	(57)	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	11.3	-1.7
27	(58)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	11.2	1.4
28	(63)	1, 2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	11.1	0.9
29	(10)	将来の夢や目標を持っていますか	10.7	2.0
30	(39)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	10.7	4.2
31	(89)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	10.4	2.9
32	(78)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	10.3	-4.6

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	県比較
1	(42)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	21.7
2	(67)	1, 2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり, 地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	11.4
3	(46)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除きます。)に勉強やスポーツを教えてもらったり, 一緒に遊んだりすることがありますか	11.3
4	(17)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	8.5
5	(40)	先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	6.5
6	(38)	学級会などの話し合いの活動で, 自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり, 折り合いをつけたりして話し合い, 意見をまとめていますか	4.7
7	(76)	国語の授業で目的に応じて資料を読み, 自分の考えを話したり, 書いたりしていますか	4.5
8	(82)	数学の授業の内容はよく分かりますか	4.5
9	(93)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	4.2
10	(39)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ, うれしかったことがありますか	4.2
11	(41)	先生は, 授業やテストで間違えたところや, 理解していないところについて, 分かるまで教えてくれますか	4.0
12	(11)	授業で学んだことを, ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	3.5

(5) 中学校3年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

中学校3年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率
1	(47)	新聞を読んでいますか	19.9
2	(50)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか	27.6
3	(33)	家で、学校の授業の予習をしていますか	29.8
4	(46)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	36.0
5	(28)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	36.4
6	(44)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.9
7	(27)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	50.3
8	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.8
9	(69)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	55.2
10	(80)	数学の勉強は好きですか	57.4
11	(68)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	58.6
12	(85)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	59.6
13	(29)	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	64.6
14	(31)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.7
15	(49)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	67.9
16	(38)	学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	68.0

17	(62)	1, 2年生のときに受けた授業で, 自分の考えを発表する機会では, 自分の考えがうまく伝わるよう, 資料や文章, 話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	70.7
18	(71)	国語の勉強は好きですか	71.9
19	(77)	国語の授業で意見などを発表するとき, うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	72.9
20	(94)	調査問題の解答時間は十分でしたか (数学B)	73.0
21	(42)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.1
22	(43)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	74.6

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち, 全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して, 差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	全国比較
1	(15)	学校の授業時間以外に, 普段 (月~金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) ※2時間以上	-19.9
2	(50)	将来, 外国へ留学したり, 国際的な仕事に就いてみたいと思いますか	-5.3
3	(16)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) ※3時間以上	-4.0

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイント以下を下回るものは次の表のとおりである。

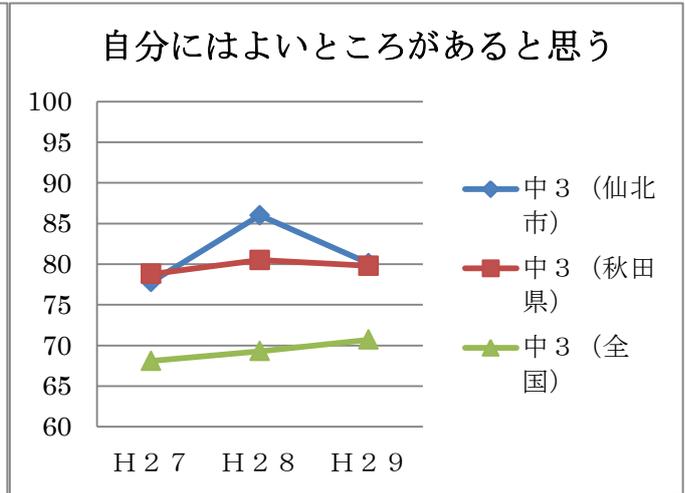
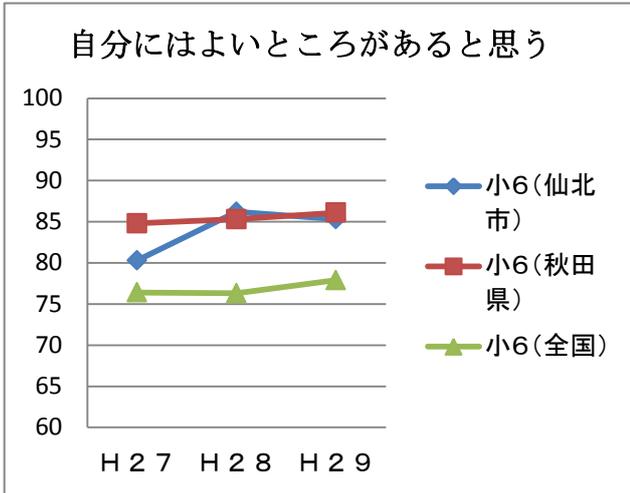
NO	質問 番号	質問事項	県比較
1	(15)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※2時間以上	-15.5
2	(16)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※3時間以上	-10.8
3	(33)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-9.1
4	(56)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-5.2
5	(31)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	-5.1
6	(45)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	-4.8
7	(78)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いて書いていますか	-4.6
8	(74)	読書は好きですか	-4.5
9	(64)	1,2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	-4.0
10	(34)	家で、学校の授業の復習をしていますか	-3.3
11	(28)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めて いますか	-3.3
12	(44)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	-3.2
13	(50)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか	-3.0

- ◆ 小学校6年生にも見られるが、特に中学校3年生での学校以外での学習時間の短さが課題となる。
- ◆ 新聞を読んでいる割合は前年度を5%ほど上回っているが、小学校6年生より低く、依然として低い割合と言える。
- ◆ 次の3年間の経年変化に表れている通り、国語を好きな割合が大きく減ってきている。授業の内容がよく分かる、読書を好きだという割合の減少との関連も推察される。

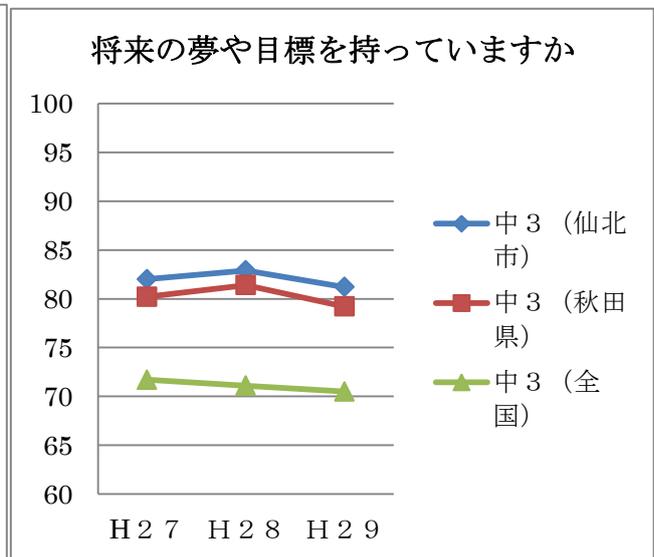
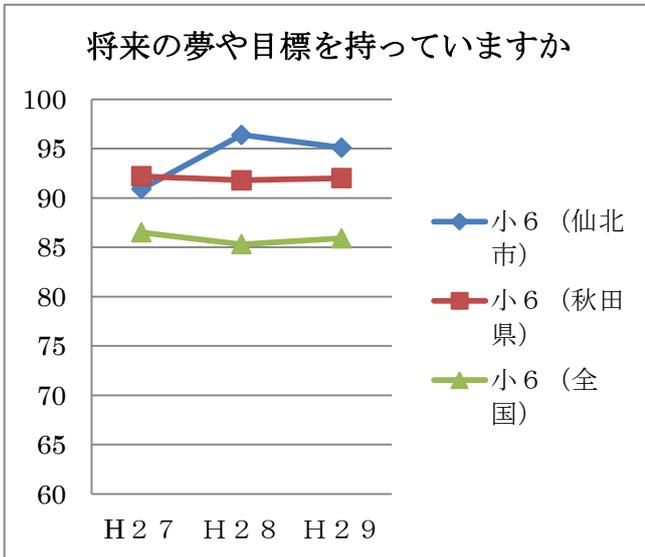
(6) 過去3年間の経年変化

「自己肯定感」「学習への関心・意欲」「地域・家庭との連携」にかかわる内容について、直近3年間の経年変化を下に記す。

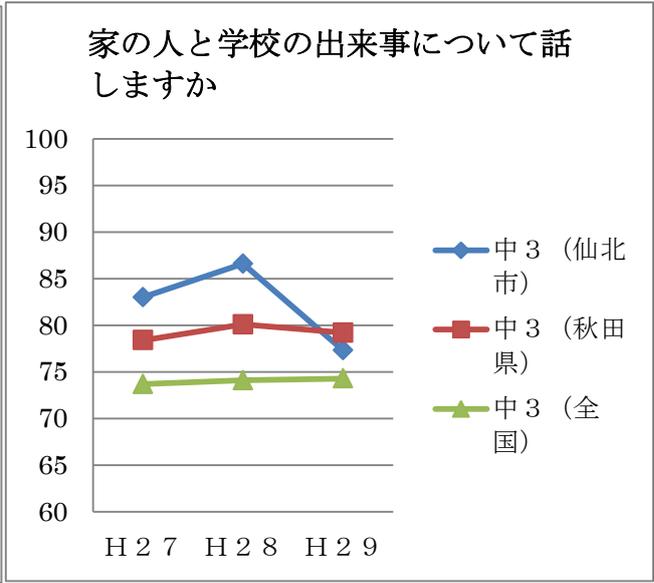
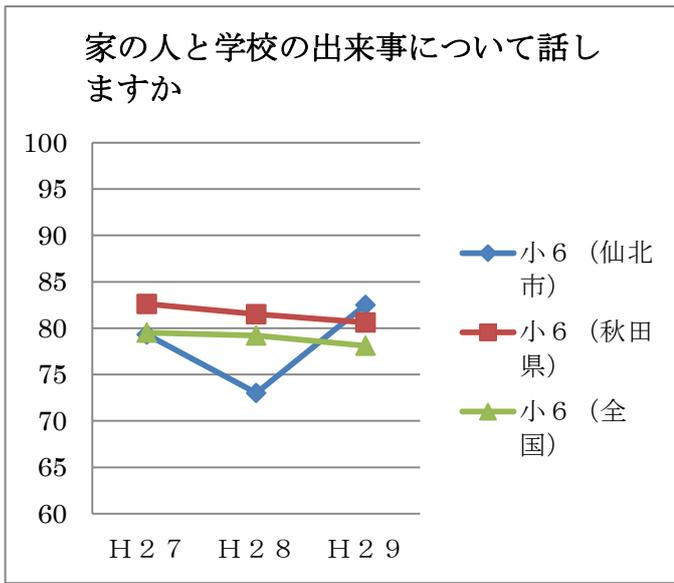
○ 自分には、よいところがあると思いますか



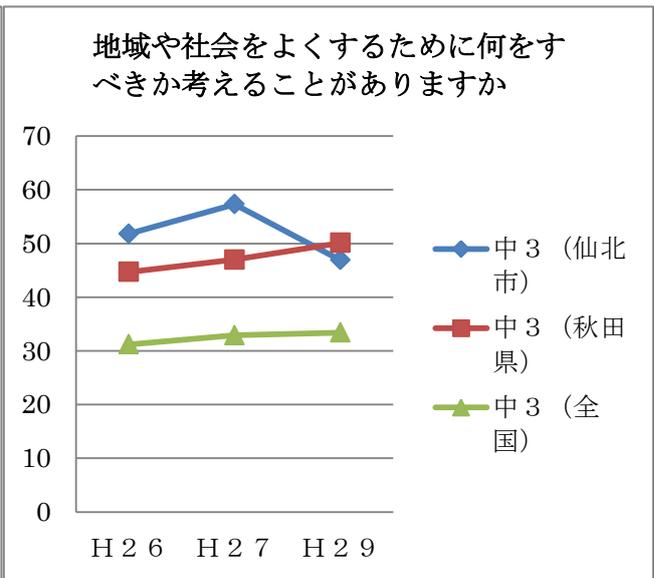
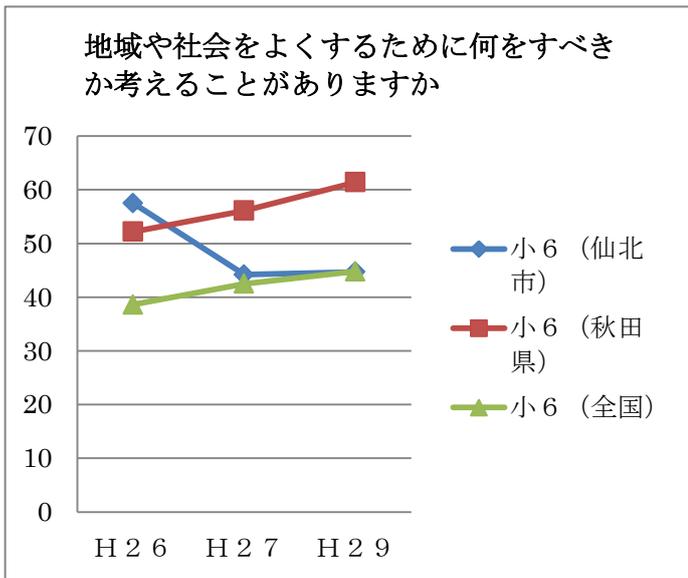
○ 将来の夢や目標を持っていますか



○ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

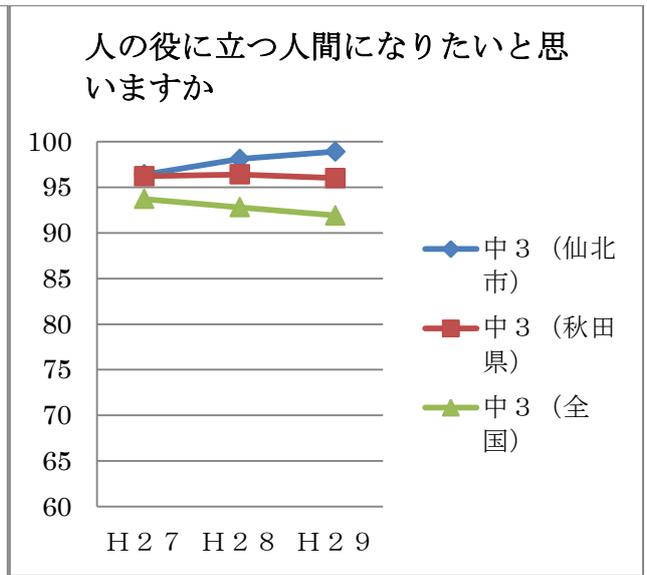
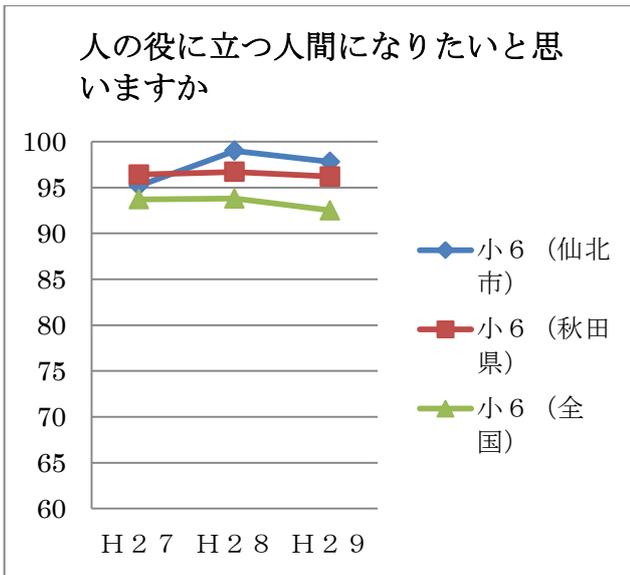


○ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか

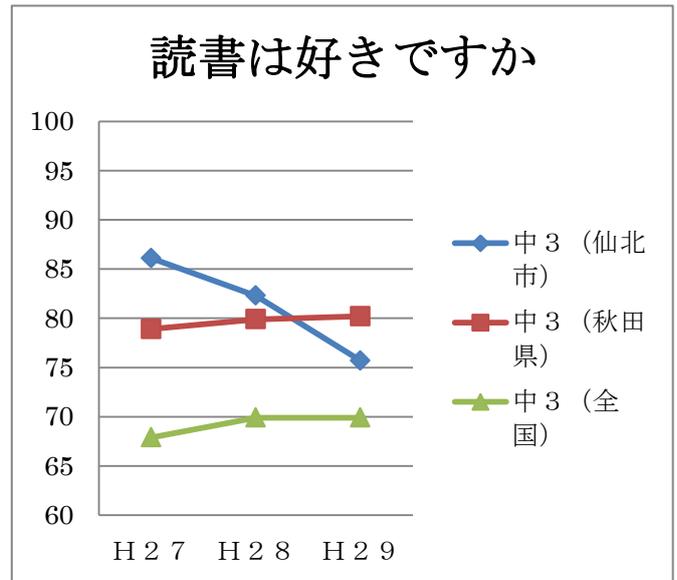
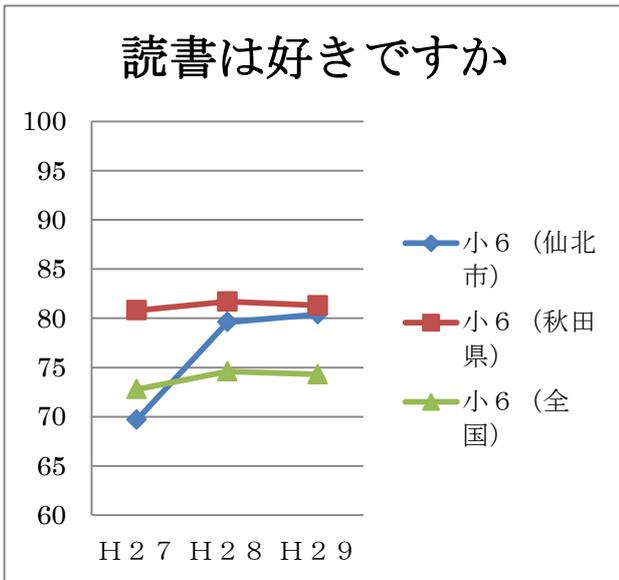


※上記質問項目は平成28年度にないため、平成26、27、29年度での経年変化とした。

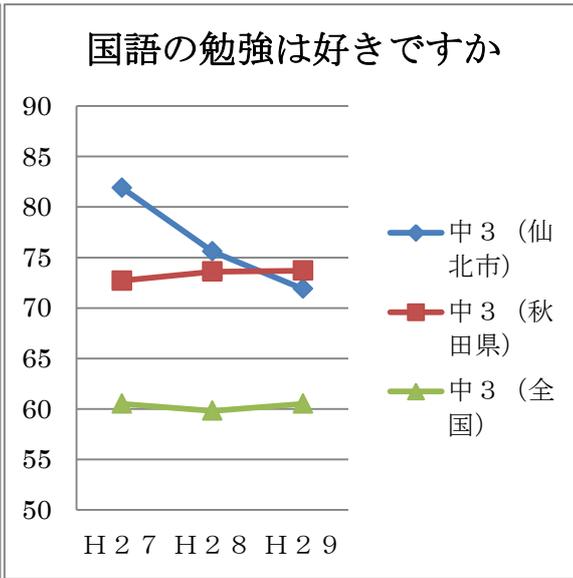
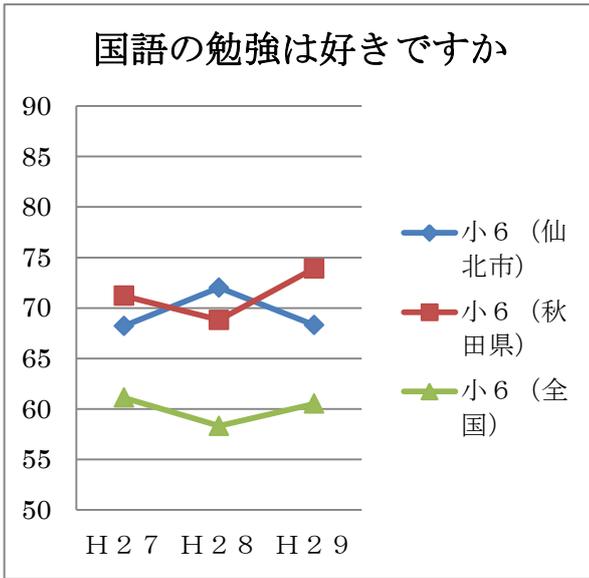
○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



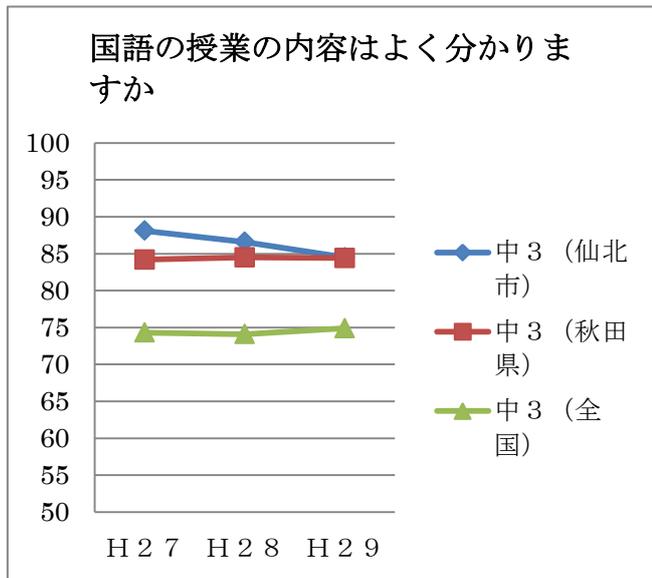
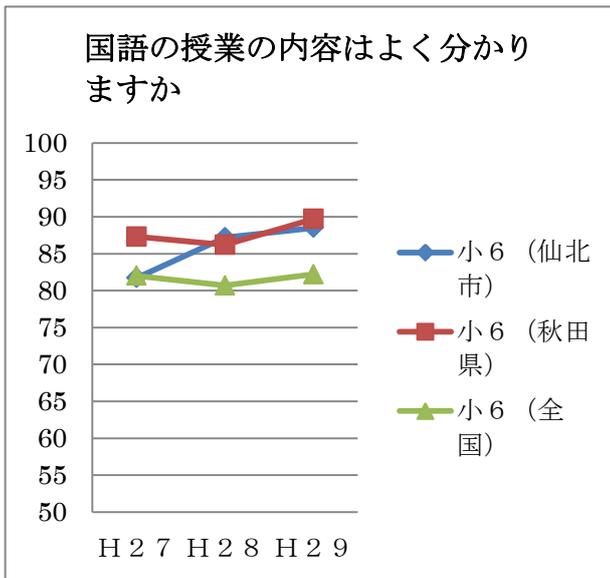
○ 読書は好きですか



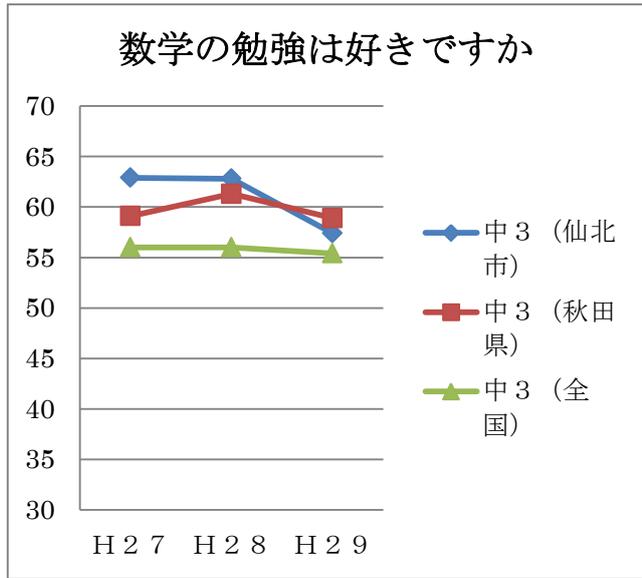
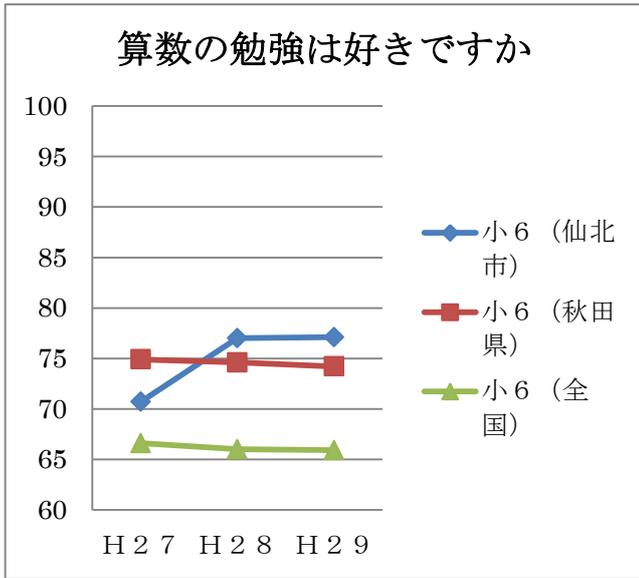
○ 国語の勉強は好きですか



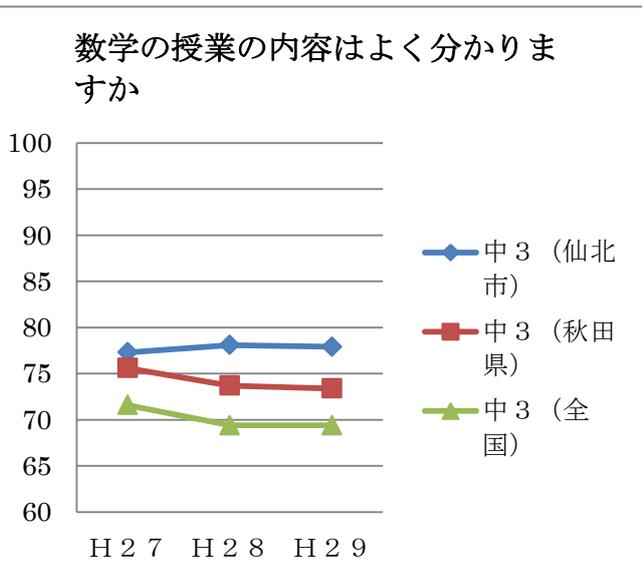
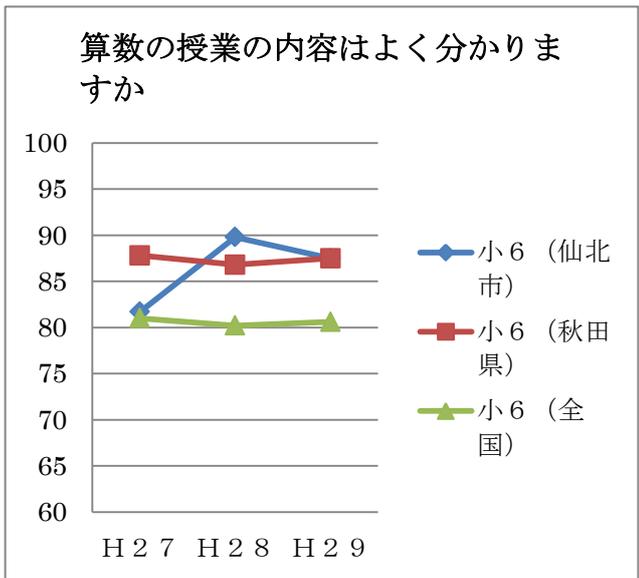
○ 国語の授業の内容はよく分かりますか



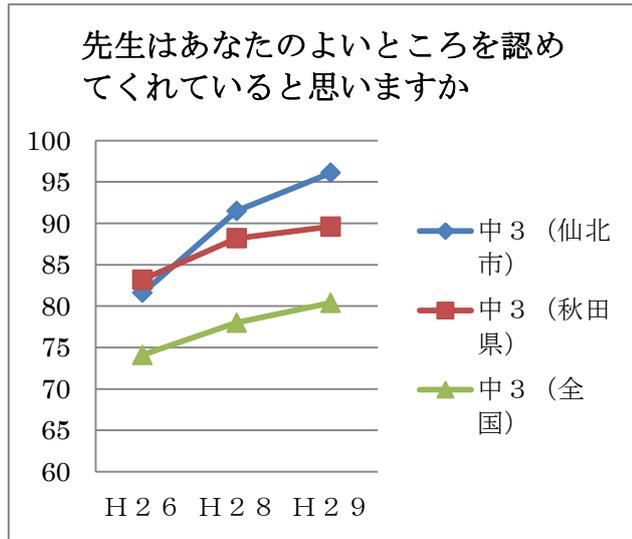
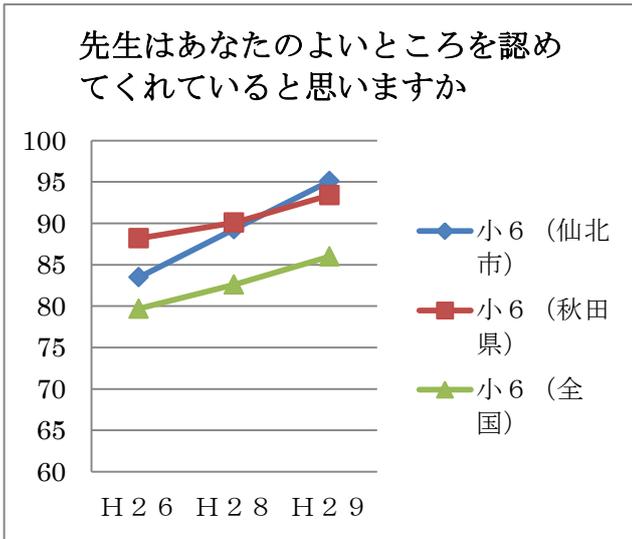
○ 算数・数学の勉強は好きですか



○ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



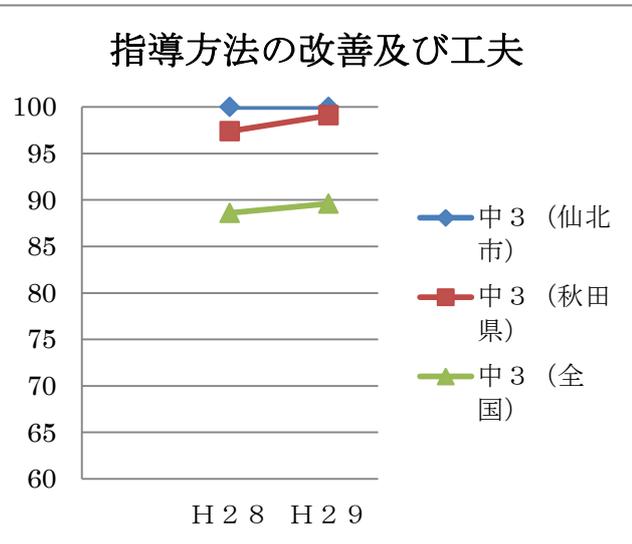
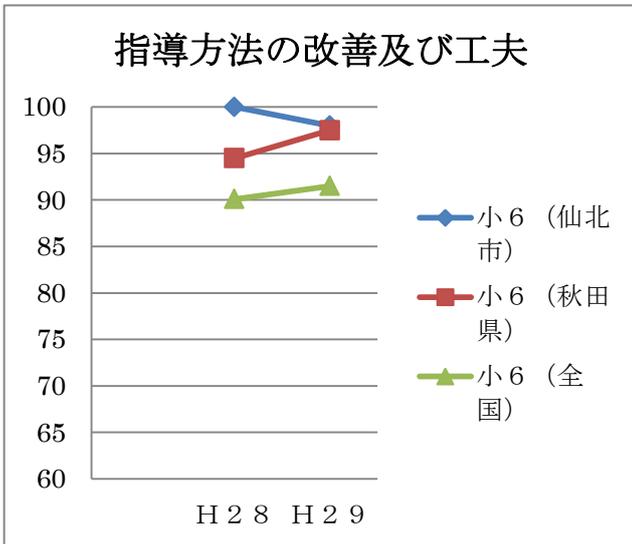
○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



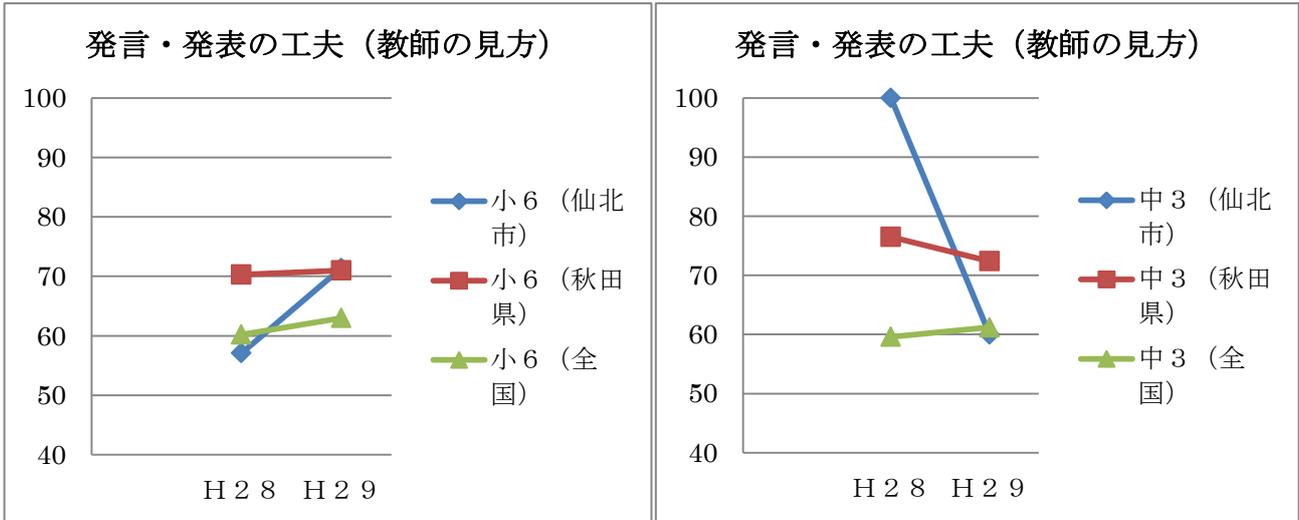
(7) 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善

「探究型の学習への授業改善」にかかわる内容について、学校及び児童生徒のグラフを示す。

○ 児童（生徒）に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか（学校質問）

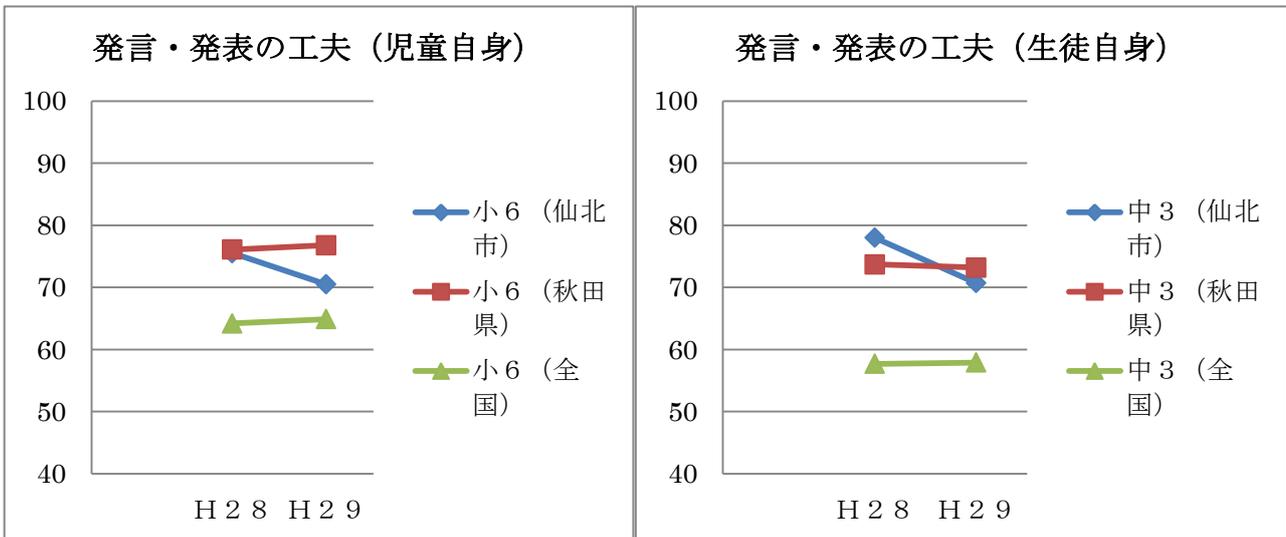


- 児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

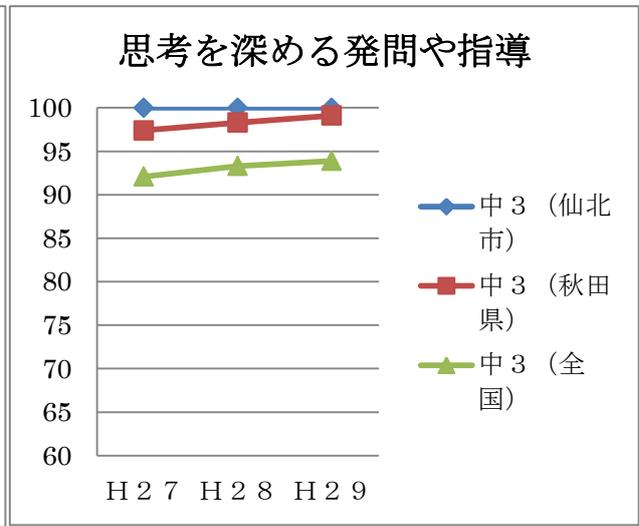
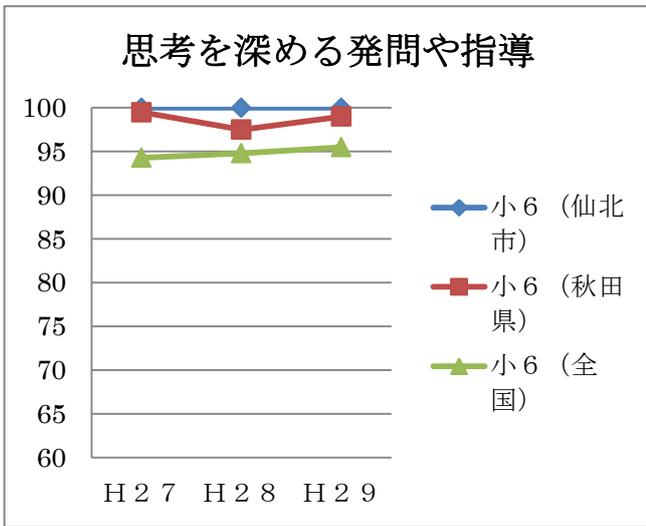


- 中学校3年生での「発言・発表の工夫（教師の見方）」では、教師の生徒の見取り方に差があることと、発言・発表の仕方への指導に関する課題が見られる。

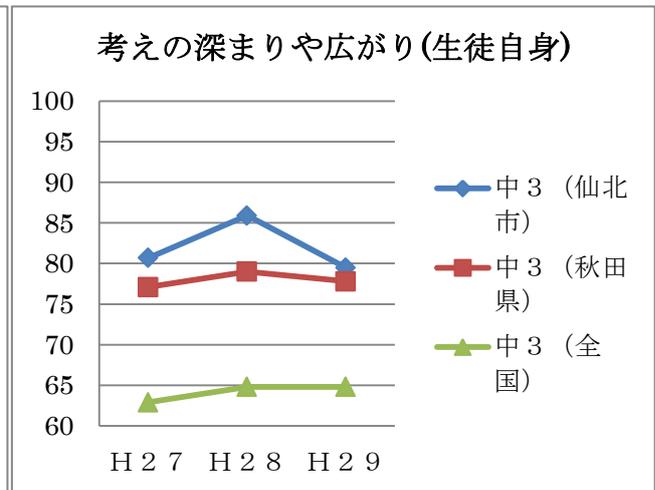
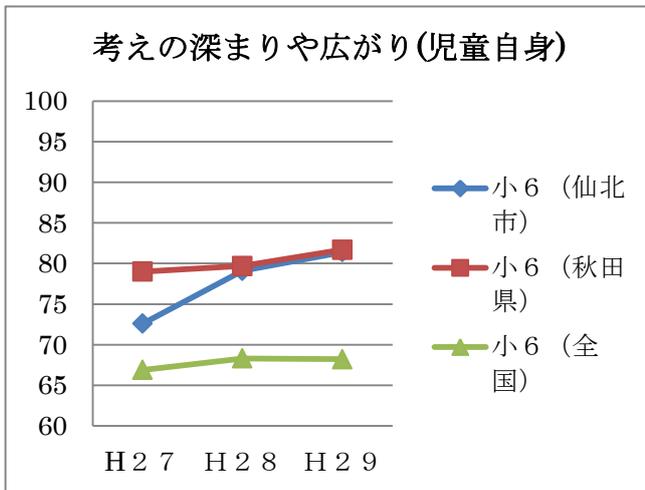
- 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していたと思いますか



- 児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



- 学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



---

## Ⅳ 改善の方法

---

### 1 全体的な取組として

---

本委員会では、仙北市全体の状況を踏まえて、一層の確かな学力の向上と授業改善の方向性について、現在仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策をもとに意見交換を行った。

教科に関する本調査の結果で、仙北市の課題として捉えられ改善のために検討の余地があるものを見たとき、仙北市児童生徒の課題は次のように集約することができる。

国語に関しては、目的や意図に応じて、文章全体の構成について考えること、表現の仕方を捉えて、適切に自分の考えを書きまとめることが課題として挙げられる。また、中学校3年国語Bの主として活用に関わっては、ほぼ全ての正答率で秋田県の正答率と開きがあった。習得した知識・技能を活用することと併せ、書いたり話したりという表現力を育て、日常生活等に活用できる資質・能力を身に付ける学習活動の充実が求められると言える。例えば、中学校3年国語Bの課題として挙げた「比喻を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」という設問では、何をどのように例えることでどのような表現の効果があるかという比喻に対する理解と併せて、比喻に対する自分なりの評価を踏まえて、この後の表現活動に比喻を生かそうとする姿勢に結び付けてほしいところである。そういった意味では、国語を好きだという割合の大幅な減少は大きな問題点であり、その解決に対する取組が課題解決への重要な要素になると言える。

算数・数学に関しては、「数と計算」に関し課題が見られる。小学校6年算数Aの主として知識に関する出題では、設問1(2)、2(4)、3、また中学校3年数学Aでは、設問1(2)、3(3)の正答率が低く、基礎的・基本的な知識・技能の習得が必要である。そのためには、問題を解決する過程で「計算の意味」と「計算の仕方」を関連付けて、計算の能力を身に付けることができるようにする指導の充実が求められる。また、「数量関係」「関数」に関しての課題も挙げられる。中学校3年数学Aでは、設問10(2)、13の正答率が低く、「グラフから二つの数量の関係を式で表す」「式とグラフの特徴についての理解」という基礎的・基本的な知識・技能の習得が課題として挙げられる。小学校6年算数Bからは「日常生活の事象を、割合や表、グラフなどを活用して考察する」、中学校3年数学Bからは「事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する」指導の充実が求められる。そして、引き続き「図形」に関わる課題も見受けられる。小学校6年算数Bからは「図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする」こと、中学校3年数学Bからは「事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、証明することができるようにする」ことの指導の充実が求められる。

これらの現状を踏まえ、それぞれの部会で改善策を話し合った。「1 授業改善について」は5つの視点から、「2 全校体制の取組について」は学校種毎に2つの視点から、また、地区毎に小中連携の視点から、さらに、「3 家庭や地域と連携した取組について」の視点から、今後の仙北市内の各学校が現状を改善していくために共通理解の上で実践するべき方策を以下に示すこととする。

## 1 授業改善の視点から

授業改善については「小学校国語部会」「中学校国語部会」「小学校算数部会」「中学校数学部会」の各部会で次の5つの視点で話し合われた。今年度の各部会で挙げられた事柄は次の通りである。

- (1) 育てたい力を明確にした授業を構築するために
  - ねらいを明確にし、評価との整合性を図った単元構想や授業プランを立てる。
  - 単元全体が見渡せる自己評価カードを作成し、児童生徒自身が各単元でどのような力を身に付けるのかを理解できるようにする。
  - 単元構想表を活用して単元の道筋を構想し、児童生徒の学びをデザインする。
  - ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを目指し、だれでも分かる授業を目指し、板書構成を統一したり、導入から振り返りまでの授業の流れをパターン化したりする。また、授業に関わる情報を視覚化する。
  - ねらいに迫るよう発問や学習活動を設定する。
  - 授業後の児童生徒の姿を想定し、時間配分に気を付け、まとめの時間、適応問題、評価問題に取り組む時間や振り返りの時間を確保する。
  
- (2) 児童生徒の学習意欲を高めるために
  - 児童生徒の言葉を生かして、授業のめあてや課題を設定することで、学習活動が自分たちの思いから生まれたと感じて取り組めるよう意図する。
  - 児童生徒が関わり合って課題に取り組む学習活動を設定することで、クラス全体で協力して解いたという意識と、自分も授業に参加したという思いを味わわせる。
  - 一時間一時間のつながりを大切にし、その時間のゴールや振り返りが、次の時間へのワクワクする意欲に結び付くよう設定する。
  - 児童生徒が様々な思考を働かせられるよう意図的に難しい発問や課題を提示する。
  - 図書支援員と協力し、関連図書を準備することで学校図書館を有効に活用する。
  
- (3) 思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動を充実させるために
  - 学習の過程でインプットしたことをアウトプットして他の人に伝えることで、更に理解を深めることができる活動を設定する。
  - 児童生徒の興味をそそる言語活動を設定し、必要感をもって取り組み、言葉で表現したいという思いを抱かせる。
  - それぞれの教科に使われる用語の正しい使い方の理解を促すことで、言語活動がその教科で身に付けさせたい力を育むことに生かせるようにする。
  - 定期テストで全国学力・学習状況調査や秋田県学習状況調査に沿った形式の問題を意図的に出題し、記述させることで文の構成を身に付け、書いて表現する活動に生かせるようにする。
  - 何のために話し合うのかといった、言語活動を行う目的をはっきりさせる。

- 言語力の育成に結び付けられるように、長文を読んだり、○文で、○字等、条件を付けて考えを書いたりする活動を多く設定する。
  - 話し合い活動を通して、相手に応じた答え方・話し方を身に付けさせる。
- (4) 児童・生徒の「問い」を引き出し、主体的・対話的で深い学びに結び付けるために
- 少数の意見等、児童生徒の多様な考えを大切に、それらをコーディネートしながら、授業を進める。
  - 他の人の式や計算、考え方を説明する活動を行い、他の人の考えの理解を図る。
  - 学習活動の中で出てきた児童生徒たち自身の言葉を生かしてまとめさせる。
  - 振り返りの質を高めるため、振り返りを評価する。
- (5) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実を図るために
- 語彙に関する基礎事項を帯単元で学習し、日常生活で活用させ定着を図る。
  - 繰り返しを大切に、毎日計算問題を解く時間を設定する。
  - 適切な文型で書けるように、最初は穴埋めにしたり、教師が書き方を提示したりし、繰り返し書かせる練習をする。
  - TTを活用し、ねらいに沿い、少人数学習や個別学習への対応の充実を図る。
  - 家庭学習との連携を図り、授業で学習した内容に関わる基礎事項を課題とする。
  - 分かる児童生徒が意欲的に学習を深めていける発展的な学習内容を設定する。

以上のような事柄を踏まえて、授業改善について仙北市内小中学校で共通理解の上で共通実践すべき方策を以下に示すこととする。

□児童生徒の姿から、身に付けさせたい力を明確にした単元構成による授業の推進  
身に付けさせたい力を考える上で、現時点でどのような力が付いているか、何が課題になるかという児童生徒の実態を正確に把握することが大切になる。その上でどんな力を身に付けさせたいかというねらいを明確にした、単元構想や授業プランを立てる。

また、児童生徒自身がこの単元で身に付いた力を実感できるように、自身が今もつ力や課題を把握し、見通しをもって学習に取り組んでいくこと、ねらい、学習課題（めあて）、学習活動、評価の整合性を図ることも踏まえ単元や授業を構築する。

□考えを広げ、深めることのできる言語活動の工夫

発言・発表の工夫や記述での解答に課題がある本市では、思考力・判断力・表現力を高めるための言語活動の一層の充実が求められる。目的意識や学習過程における位置付けを明確にした言語活動を設定する際には、児童生徒の実態から有効な言語活動を工夫して設定する。

□児童生徒の問いを生かした探究型授業の一層の推進

児童生徒の問いから「学習課題の設定」をすることにより、課題は児童生徒にとって自分たちのものとなり、自分の考えを生かし、協働して考える必要性や意欲に結び付く。しかし、そこには教師のコーディネートが必要であり、様々な児童生徒の問いやつぶやきを予想し、生かすこと、また、教材との出会わせ方、など事前の綿密な教材研究によるところが大きい。将来に生きて働く力を育む探究型授業を今後も一層推進する。

□基礎・基本の定着を図る学習形態の工夫や家庭学習との連携

本市では基礎的・基本的知識の定着に引き続き、一層の充実が求められるが、実態を踏まえ、それぞれの児童生徒に合わせた指導の工夫を図る。その際に身に付いたとの実感が次の学習への意欲に結び付くよう配慮する。

また、授業と家庭学習の連携を図り、基礎・基本の定着への有効な手段となるよう内容の工夫や計画性を考えて児童生徒に提示する。

## 2 全校体制の取組の視点から

各学校がそれぞれの課題を見極め、全校体制でその解決に臨んでいくために、「研究主任部会」では次の視点を中心に、学校種ごと・地区ごとに分かれて話し合いを行った。

そこで出された方策を以下に示すこととする。

### (1) 小学校の視点

①児童が自信をもって発言・発表ができたり、話し合いを深めたりするために

□児童が話し合い活動の形を身につけ、話し合いを深められるように、学年や教科の枠を超えて各校で共同研究を進める。

□学習形態を工夫することや、思考を広げ、深めることのできる思考ツール等を活用することで、自信をもって話し合いに臨み、話し合いを深めさせる。

②個々の学習状況に応じた支援の工夫を図るために

□きめ細かく児童の実態を把握し、全員が学習の見通しを理解して授業に臨める手立てを工夫する。

□児童生徒それぞれの理解に合わせた個別指導等を行うことで、それぞれの学習への充実感を味わわせる。

### (2) 中学校の視点

①学校図書館を活用した授業に取り組むために

□学校図書館を活用できる機会や学習を単元計画の中に明確に位置付けることが必要である。また、インターネット検索、デジタル教科書、電子書籍等の電子媒体と紙媒体の長所と短所を理解し、場や機会に応じて活用する力を育てることも必要となる。

②教科の枠を超えて研修を進めていくために

□全校体制での研修を進めるために、研究の方向性を明確に提示し、共通理解を図り、研究主任を中心に研究体制を確立させる。授業参観の際には視点を明示したり、ワークショップ等研究会の持ち方を工夫したりする。

□教科の枠を超えて実践できる視点を設け、共通実践事項を設定し、P D C Aサイクルに基づいて、定期的に検証・改善していく機会を設ける。

(3) 小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

□仙北市の教育研究大会等の機会を利用して、小中の各教師が、お互いの授業を見合い、協議・研修する機会を増やし、全教職員が9年間の系統性や連続性を意識できるようにする。

□校務分掌ごと（特に、研究主任、生徒指導主事）の小中の連携を密にし、児童生徒の実態等の具体を踏まえた研修を進める。

□児童会・生徒会同士のつながりを持ち、家庭学習への取組、学習規律の情報交換を図る。また、アウトメディア、挨拶運動等、共同でできる活動を「子どもサミット」で取り上げ、中学校区ごとに活動に取り組んでいく。

□学校区内の小中連携を更に進めていき、小中間の意識の垣根を低くしていくには、より細かな点での連携が必要になる。まずは小さなことから取り組んでいくことが必要である。特に1小1中学校区のところでは9年間を見据えた連携が大切である。

### 3 家庭や地域と連携した取組について

連携のための礎は相互理解である。仙北市、市教育委員会、各学校からの発信が家庭や地域と連携した取組を支えている。

家庭や地域と連携した取組の方策を以下に示すこととする。

□地域・家庭に対し、学校や教師の営みを発信するのみならず、「ふるさと学習」の実践の視点からも児童生徒が地域で活動・活躍する機会を多く設定する。児童生徒による地域貢献活動を更に推進・支援していく。

□「早寝・早起き・朝ご飯の奨励」「スマホ、PCの使い方・アウトメディアへの取組」「ニュースや社会に関心をもつこと」等、家庭が取組の主体となることに、学校と保護者が同一歩調で取り組めるように、学校・学年・学級報等を活用して啓発を図る。

## 2 学年・教科・区分・各設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについては、次の資料の活用を充実させる必要がある。

- 「平成29年度学校改善支援プラン」〈平成29年3月 秋田県検証改善委員会〉
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査【小学校国語】報告書」
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査【小学校算数】報告書」
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査【中学校国語】報告書」
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査【中学校数学】報告書」
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査【質問紙調査】報告書」  
〈平成29年8月 文部科学省 国立教育政策研究所〉
- 「平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」  
【小学校国語・算数】  
【中学校国語・数学】  
〈平成29年9月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容の  
まとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～」  
【小学校編】 〈平成24年9月 文部科学省  
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉  
【中学校編】 〈平成24年9月 文部科学省  
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」  
【小学校版】 〈平成22年12月 文部科学省〉  
【中学校版】 〈平成23年 5月 文部科学省〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校・各教科）」  
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校・各教科）」  
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉

---

### **3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策の在り方について**

---

#### **1 地域の人材活用と財政的支援**

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップスタッフ」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

また、平成25年度からは、各学校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も実施している。平成26年8月には「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」指導資料として冊子「ふるさと仙北学」を発行、各校に配布した。平成27年12月同冊子を増刷し、各校に配布した。ふるさと教育を基盤とした取組の充実が児童・生徒の生きる力、地域社会における自己有用感の育成につながるようさらに働きかけていく。

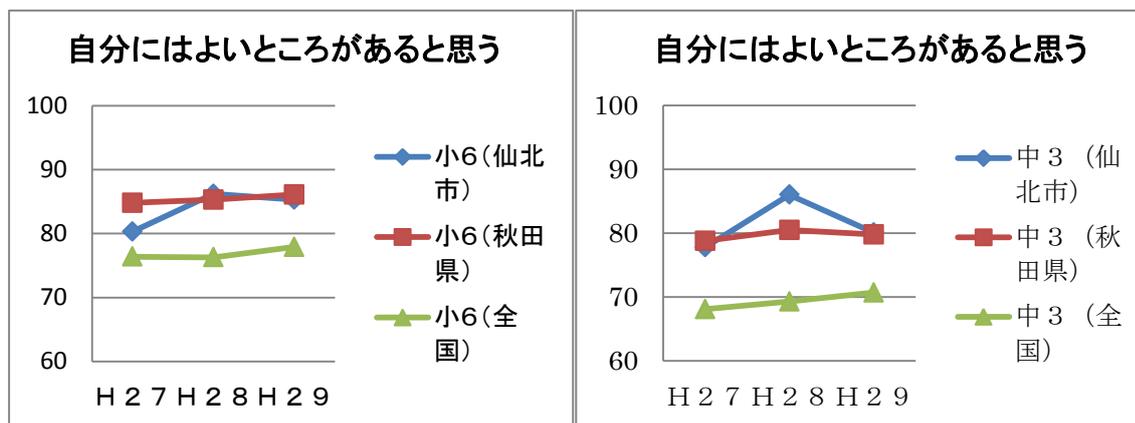
#### **2 北浦教育文化研究所研究委員会の充実について**

前ページIV-2の各種資料については、各学校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

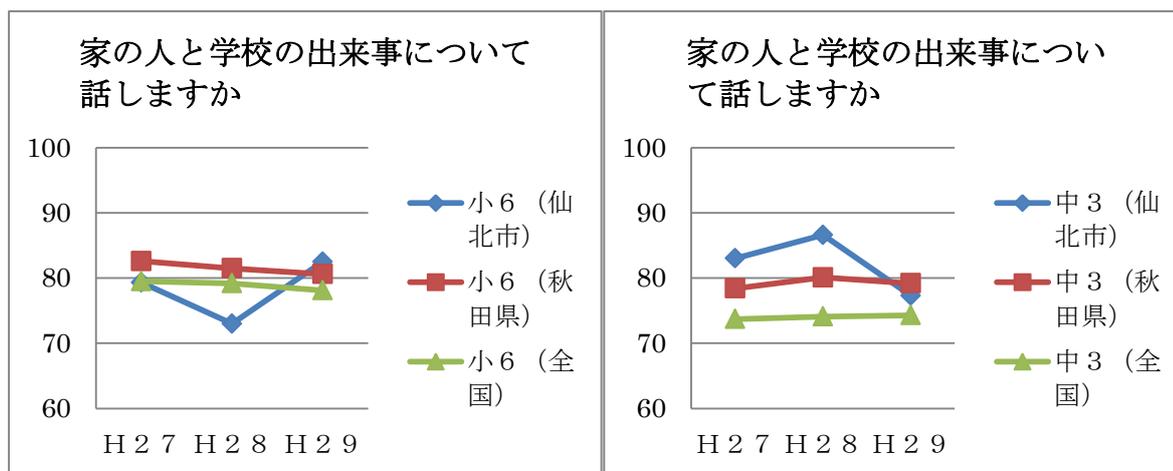
## 4 学校・家庭・地域の一層の連携

次に直近3年間の経年変化を表した4葉のグラフを示す。

○ 自分には、よいところがあると思いますか



○ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

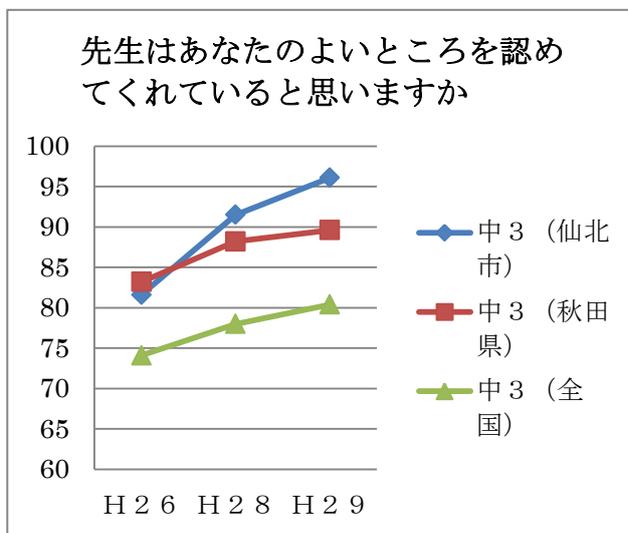
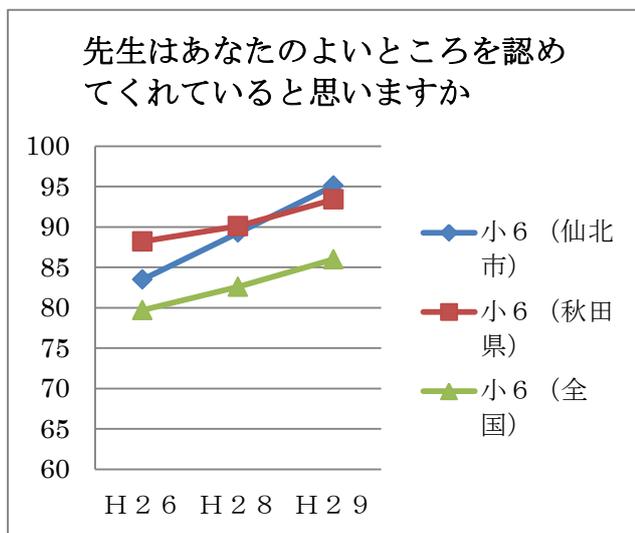


上のグラフは質問紙から、「自己肯定感」について問われたものであり、下のグラフは「家庭内における児童生徒の家族との会話の状況」について問われたものである（左が児童質問紙によるグラフ、右は生徒質問紙によるグラフ）。

児童・生徒のグラフを各々上下で比較すると、小学校6年生は前回に比較して、家庭内での会話についての割合が増加しているが、中学校3年生においては減少を示している。同時に自己有用感の高まりも中学校3年生は減少傾向にあるので、昨年度と違って二つの間の相関関係を表す結果となった。

また、今年度は新たに次のグラフを示した。

○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



小・中学校共通して、先生方の関わりによる児童生徒の自尊感情が高まっており、その傾向は全国・秋田県と比べても顕著と言える。

これまでの報告書で確かな学力の向上のために、児童生徒が安心して自己有用感を育める環境が必要であるとし、学校・家庭・地域が「目標・ねらい」を一つにした一層の連携が必要であると述べているが、仙北市ではその連携が機能しており、確かな学力の向上に対する成果が少しずつ形となって表れている。

学校ではこれまで同様に、「基本的生活習慣」や「基本的学習習慣」の基盤の上での「学びのサイクルの習慣化」を働きかけてほしい。「学びのサイクルの習慣化」とは、授業を核として、授業日の家庭学習や長期休業中の学習、学校の始業前や放課後の学習が有機的に結び付けられ、関連し合って児童生徒の学びが習慣化されていくことであり、児童生徒の自覚を促すとともに、家庭への働きかけが重要となる。

家庭では子どもの基本的生活習慣や学習習慣などに関心を持ち、子どものよき成長を願い、学校と協力して家庭教育を充実させていこうとする姿勢が望まれる。特に情報モラルに関わる約束事の確認等、家庭での子どもへの関わり方が学校生活のみならず、日常生活や今後の社会生活に大きく影響を及ぼすことについての理解が必要である。児童生徒の就寝までの限られた時間の中で、家族の一員としての役割を果たし、家族とのコミュニケーションを意義あるものにしながら学習時間を確保できるようにしたいものである。

子どもたちの地域への愛着の深さには、地域住民の支えが大きく影響していると考えられる。これまで以上に学校・家庭・地域の連携を深め、望ましい地域社会の発展とともに温かな家庭環境や居心地のよい学校・教育環境を構築し、地域・社会に貢献できる人間の育成を図りたい。

### 資料 1

#### 「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱

平成19年12月20日

教育委員会告示第19号

最終改正 平成26年11月教育委員会告示第25号

(目的)

**第1条** この要綱は、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」（以下「本調査」という。）の仙北市及び仙北市立小・中学校の調査結果について文部科学省から提供される情報（以下「結果」という。）の取扱について必要な事項を定めることを目的とする。

(結果の公表)

**第2条** 仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

(結果の公表の内容)

**第3条** 文部科学省が市町村教育委員会に提供する結果の資料（別表1）について、公表に係る取扱は次の通りとする。

- (1) 「1」の公表については、国及び県の平均正答率と比較して（別表2）の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を（別表2）の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。平均正答率の比較以外の結果は公表しない。
- (2) 「2」の公表については、「学習指導要領の領域別」「評価の観点別」「問題形式別」に国及び県の平均正答率と比較して（別表2）の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を（別表2）の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係につい

ても併せて公表する。各設問ごとの結果の比較は公表しない。

- (3)「別表1」の「3」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (4)「別表1」の「4」については、公表する。
- (5)「別表1」の「5」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (6)「別表1」の「6」～「8」は公表しない。

(改善策の立案)

**第4条** 結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1)主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2)主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3)改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4)その他

(結果の公表の方法)

**第5条** 第3条に示す公表の内容及び第4条に示す改善策は、仙北市教育委員会北浦教育文化研究所において、改善策の策定後すみやかに報告書を作成し公表する。

(情報公開)

**第6条** 仙北市情報公開条例第7条6号を根拠として第3条に示す公表内容以外の情報は不開示情報とする。

(その他)

**第7条** この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める

附則

この告示は、平成19年12月20日から施行する

附則

この告示は、平成26年11月28日から施行する

(別表1)「文部科学省が市町村教育委員会に提供する資料」(第3条関係)

	内 容	備 考
1	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果概況	(1)棒グラフ(正答数別児童生徒の割合) (2)数値(正答数別の児童生徒数、平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差)
2	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	(1)表(「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の平均正答率) (2)表(各設問ごとの「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の正答率、無回答率)
3	各市町村域内の公立学校全体の質問紙調査の回答状況	(1)表(児童生徒質問紙の各質問の選択し別の児童生徒数、割合)(選択肢別の学校数、選択肢別の学校数の割合) (2)棒グラフ(各質問の選択肢別の児童の割合)(選択肢別の学校の割合)
4	各市町村が設置管理する学校の参加概況等	
5	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果と児童生徒質問紙調査の結果のクロス集計表	(1)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数) (2)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数の割合)
6	各学校の各教科区分別の調査結果概況	各学校に提供される情報
7	各学校の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	各学校に提供される情報
8	各学校の各児童生徒の各教科の調査・児童生徒質問紙への解答(回答)状況	各学校に提供される情報

「\*四分位層」…成績の上位から25%のきざみで4つのグループに分け相関の度合いを示す

(別表2)「(別表1)の1及び2の公表に係る階層区分と表現」(第3条関係)

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

## 資料2

## 平成29年度 仙北市「全国学力・学習状況調査」結果分析・改善委員会名簿

	委員氏名	備考
1	高橋ひろみ	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (角館小学校)
2	高橋郁子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (中川小学校)
3	鈴木操	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (白岩小学校)
4	藤峰芳子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (生保内小学校)
5	佐藤有紀	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (神代小学校)
6	草薨真智子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (西明寺小学校)
7	伊藤里実	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (桧木内小学校)
8	島田喜利子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (角館中学校)
9	佐藤義紀	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (生保内中学校)
10	新田目雅行	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (神代中学校)
11	後藤春子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (西明寺中学校)
12	佐々木充	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員 (桧木内中学校)
13	塩谷貴	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (角館小学校)
14	千葉仁	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (中川小学校)
15	佐々木玲子	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (白岩小学校)
16	伊藤渉	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (生保内小学校)
17	田口倫	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (神代小学校)
18	小松信市	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (西明寺小学校)
19	築友章	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (桧木内小学校)
20	三浦誠	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (角館中学校)
21	武藤洋史	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (生保内中学校)
22	藤田千秋	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (神代中学校)
23	戸澤聖子	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (西明寺中学校)
24	高橋範幸	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員 (桧木内中学校)
25	佐藤真理子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (角館小学校)
26	進藤美喜子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (中川小学校)
	佐々木玲子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (白岩小学校)
27	三浦和義	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (生保内小学校)
28	木元俊子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (神代小学校)
	草薨真智子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (西明寺小学校)
29	池田美香子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (桧木内小学校)
30	佐々木克実	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (角館中学校)
31	武藤洋史	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (生保内中学校)
32	橋本千東	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (神代中学校)
33	松本道男	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (西明寺中学校)
34	湯野澤美穂	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員 (桧木内中学校)
35	三浦政喜	北浦教育文化研究所 研究委員
36	佐藤公則	北浦教育文化研究所 研究委員
37	鈴木徹	北浦教育文化研究所 研究委員